

令和7年度予算のお知らせ



経常収支
2億12万1千円の赤字予算

予算総額19億9,127万7千円

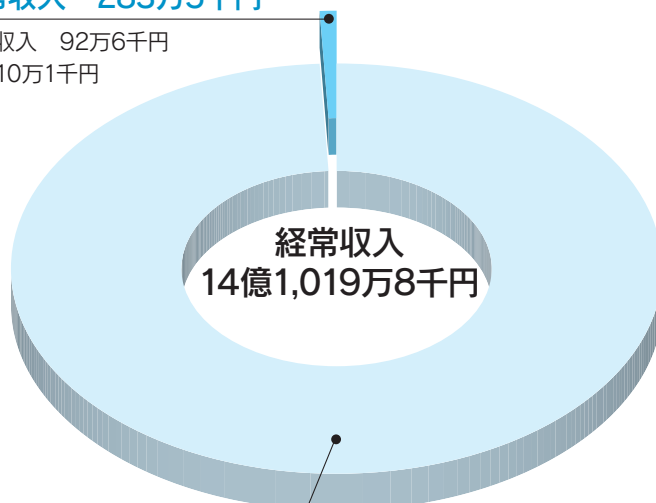
健康
保険

■予算の基礎数値

被保険者数	1,896人
平均標準報酬月額	468,000円
保険料率	94.0/1000
事業主	50.7/1000
被保険者	43.3/1000

その他経常収入 283万5千円

- 国庫補助金収入 92万6千円
- 利子収入 10万1千円
- など



保険料 14億736万3千円

毎月の給料や賞与から、みなさまと事業主に納めていただきます。前年度比9,398万円増を見込んでいます。

その他経常支出 7,778万8千円

- 事務費 7,162万4千円
- 連合会費 59万4千円 など

保健事業費 7,154万9千円

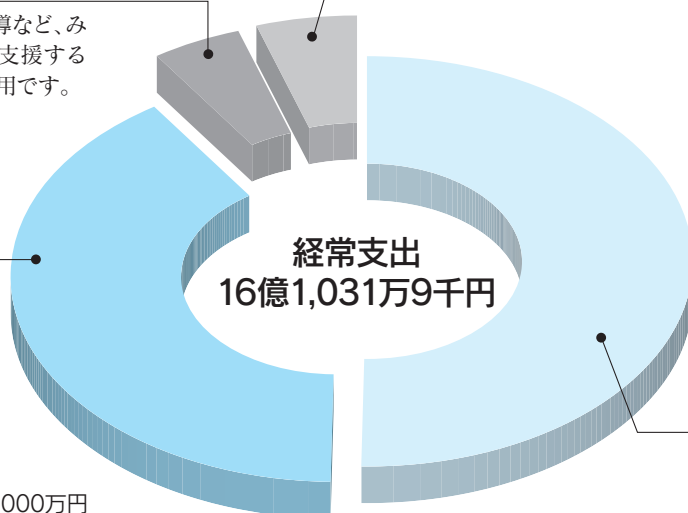
各種健診、特定保健指導など、みなさまの健康づくりを支援するための事業にかかる費用です。

納付金 6億3,500万2千円

高齢者医療を社会全体で支えるために、健保組合に課せられる費用です。前年度比1億499万8千円増加の見込みです。

■保険料の約45%に相当

- 前期高齢者納付金 2億7,000万円
- 後期高齢者支援金 3億6,500万円
- その他 2千円



保険給付費 8億2,598万円

みなさまが受けた医療に対する給付等にかかる費用です。前年度比1億574万5千円増を見込んでいます。

■保険料の約59%に相当

予算の概要

令和7年度予算は、総額19億9、127万7千円を計上し、経常収支では、2億12万1千円の赤字予算を見込んでいます。

収入面では、被保険者数や平均標準報酬月額増加により、収入の大半を占める保険料収入は対前年度比、約9、398万円増加の14億736万3千円と見込んでいます。

一方、支出面においては、前期高齢者納付金と後期高齢者支援金が対前年度比1億500万円の大幅な増加見込みとなり、保険給付費については、前年度の増加傾向を踏まえ、令和7年度は通常の予算ベースより増加することを見込んでいます。

また、保険給付費の不測の増加に備え、予備費として3億6、000万円を計上しています。

前述の、納付金および保険給付費（義務的経費）だけで保険料収入の104%となるため、経常収入だけでは賄えず、繰越金約2億5、900万円を補填して予算編成としています。令和7年度予算では、保険料率は据え置きましたが、依然として厳しい組合運営が続くことは変わりありません。

健保組合としては、誰もが安心して医療を受けられ国民皆保険制度の一翼を担うという責任のもと、財政の健全化に取り組みつづ、より効率的・効果的な保健事業に取り組んでまいります。被保険者とそのご家族のみなさまにおかれましては、当健保組合が実施している保健事業などをご活用いただくとともに、日ごろの健康管理の留意やジェネリック医薬品の積極利用等、医療費の節減にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

健保組合を取り巻く状況

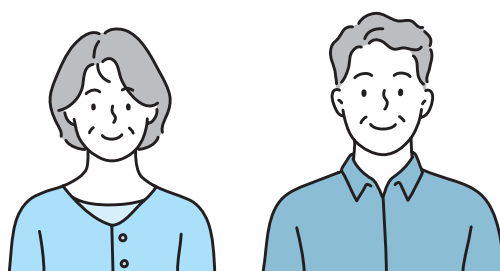
2025年は団塊の世代が75歳以上になり、その後高齢者人口がピークとなる2040年頃にかけて、医療の高度化・高額化に伴う医療費の増大や総人口の減少が進むなど、現役世代および将来世代の負担増が喫緊の課題となっており、社会保障制度の見直しが必要となっています。

今後も現役世代の人口減少が進むと見込まれている以上、高齢者医療制度の見直しや医療DXの推進による効率的な医療提供体制の仕組みづくりなど、多くの課題に対して改革を行う必要があります。

介護保険

予算総額 3億7,054万9千円

介護保険については、事業主と40歳以上の被保険者のみなさまから介護保険料の徴収を行い、介護保険の事業運営に協力しています。
令和7年度においては、介護保険料率は据え置くこととしました。



収入

科 目	予算額
介護保険収入	2億2,080万5千円
繰越金その他	1億4,974万2千円
収入合計	3億7,054万9千円

支出

科 目	予算額
介護納付金	2億円
介護保険料還付金	105万円
積立金	1億6,949万8千円
雑支出	1千円
支出合計	3億7,054万9千円